

情報共有

(1枚)

(非管理メモ)

官邸、NISA班 ← プレス班

手許資料

東京電力株式会社

プラント状況 (本店レク) 議事メモ

4-4

8/4 14:30

日時：平成 23 年 8 月 4 日 (木) 11:00~11:15

場所：東京電力本館 3 階大会議室

先方：記者約 30 名 (カメラ 3 台)

当方：原子力・立地本部

原子力設備管理部

広報部

配布資料：

- ・ 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
- ・ 東北地方太平洋沖地震による影響などについて【8月4日 午前9時現在】

よりプラント状況、配付資料に関して説明。

質疑：

Q. 昨日英国のセラフィールドのSMPの閉鎖について報道されたが、東京電力がSMPに投資している金額や、SMP閉鎖についての見解を教えて欲しい。

A. SMPは当社だけでなく、日本の各電力会社がMOX燃料の加工契約を結んでいる。契約としてはこれまでと同様であり、MOX燃料の加工は止まっているが、プルトニウムそのものはSMPの事業主体であるNDAの方で安全に保管されている状況である。当社としては、福島第一原子力発電所の事故の収束に全力を挙げて取り組んでいる状況であり、今後プルトニウムをどのように扱っていくかは未定である。

Q. NDAのSMP工場の閉鎖のプレスでは、今回の福島第一原子力発電所の事故の影響も含めて経営が立ちゆかなくなったという情報が入っているが、それについて東京電力としてのコメントは。

A. SMPの閉鎖自体はNDAの判断であると考えている。当社としてはその判断に対してコメントできる立場ではないが、今回の地震、津波の影響で日本の各電力会社がMOX燃料の加工に対する見通しが不透明になったという判断だったのではないかと思う。

Q. 福島第一原子力発電所2号機格納容器内のガスのサンプリングはどのような装置・仕組みで行うのか。

A. 2号機についても1号機と同様、格納容器酸素分析ラックを使う。また、その手前から分岐して仮設サンプリング装置を設置する。1号機と2号機の違いとしては、1号機は仮設サンプリング装置が分析ラック付近に設置していたが、2号機は大物搬入口付近に設置しており、分岐点から装置までの距離が長いということが挙げられる。

Q. 2号機格納容器内のガスのサンプリング結果は本日中に公表するのか。

A. おそらく明日になると思う。

Q. SARRYの通水試験で、今のところ不具合や改善すべき課題などの報告はないか。
A. 現在1塔ずつ水を張ってリークチェックを行っているが、今のところ大きな不具合の報告は受けていない。

Q. 明日、文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会で賠償の中間指針が示される予定になっており、それによって請求者が相次ぐかと思う。東京電力として賠償対応の人員を増員することになり、賠償対応の広報も重要になってくると思うが、今後コールセンターや補償センターなどを取材させていただけないか。
A. 出来るか出来ないのかを含めて預からせていただく。

以上